



## 見据える先は国内の競争より、 世界の人からの評価

佐藤課長さん、本当に  
ありがとうございます♪



（株）朝日相扶製作所の佐藤課長さんと脩うえごと木工の東上里専務さんです。

今回の山形訪問の目的だった某木工さんの工場見学が同業者には見学させられないと断られたそうです。

わざわざ、沖縄から来てくれた人達に対して、冷たい対応でとてもさびしく思いました。

他の人達は次の目的の工場見学に行く予定が組まれているとの事で、私は東上里専務さんだけ、ホテルに向かえに行行って（株）朝日相扶製作所さんの工場見学にお連れしました。

私達がつくと、受付のさとみさんが笑顔で対応してくれて、すぐ関根課長さんと呼んでくれました。

**いつもは見学の方が来られると社長さんが自ら案内してくれるそうですが、今日は私達が三番目の見学依頼だったそうで、関根課長さんに案内してもらいました。**

**工場見学に来られた人達に社長さんが自ら案内されているという事を聞いて驚きと尊敬の気持ちが湧いて来ました。**

本社工場を案内してくれた関根課長さんはとても親切で同業者の東上里専務さんに「ここは特別ですよ」と言いながら冗談を交えて楽しく、そしてしっかりと説明してくれました。

東上里専務さんは、見学を断られた某木工さんとまったく正反対でこんなにも詳しく丁寧に同業者に説明してくれる関根さんに「是非、石垣島へ工場進出して下さい。私も何かのお役に立てると思います」なんてうれしそうに話していました。本社の工場見学が終わって待合室に戻ると、阿部社長さんと佐藤課長さんが来られました。

**阿部社長さんは、某木工さんが見学を断った話を聞いて、「海外を相手にするためにも、国内でタイアックスし、オールジャパンで良いモノを造っていきたいですね」と私達に話してくれました。**

**そして、（株）朝日相扶製作所さんが国連の椅子を260脚製作して納入した読売新聞の記事を見せてくれました。**

**私は「え、国連に納入したんですか」とスケールの大きさに驚いてしまいました。**

その後、特別に本社工場とは別の寒河江工場へ佐藤課長さんに連れていってもらい、また本当に丁寧に説明してもらいました。

東上里専務さんは、「武田さん。この工場は特別ですよ。私はこれが見たかったんです。ここまで見せてもらえて感激しています。」と真剣な眼差しで私に話してくれました。

私が佐藤課長さんに「本当に忙しいのにこんなに丁寧に案内して頂いて申し訳ございません。」とお礼を言ったら、佐藤課長さんは「いいえ、暇ですから」とこちらに気を使って優しく返事をくれました。さすが阿部社長の心使いが徹底されているなあと感じました。

**阿部社長様、関根課長様、佐藤課長様、さとみさん本当にありがとうございました。感謝します。**

“どんまい どんま〜い”を読んでいかがだったでしょうか。「あなた」の感想をお聞かせ下さい。

電話 023-644-5633

FAX 023-644-5663

Eメール [takeda02-ht@yamagata.email.ne.jp](mailto:takeda02-ht@yamagata.email.ne.jp)

武田英昭までお願いします。  
どんな事でもいいです。  
是非ともおねがいします。

待ってま〜す。

